



あらためて「がんばることができる」環境を整える

4月が終わり、ゴールデンウィークを経て、5月に入るとこれまでがんばっていた子どもたちは徐々にがんばりが効かなくなってきました。あるきっかけでがんばろうと取り組むことはできるのですが、継続していくことの方がとてもむずかしいと大人は経験上、よくわかっています。子どもも同じです。最近、遅刻がとくに多くなってきています。これまでは時間通りに登校できていた子どもたちのがんばりが効かなくなっているのだろうと思うのですが・・・。

生活指導担当からもことあるごとに「生活リズムを整える」ことを子どもたちに話しています。早寝、早起き、朝ごはんです。「少しくらいの遅刻なら」というふうに考えていくと、少しくらいやらなくても、少しくらいさぼっても、と少しくらいが広がっていきます。あらためて小学校のルールを提示しておきます。

**学校を遅刻または欠席した児童は、
その日はスマホやゲーム機のデジタル機器を使わない**

生活リズムを作ってあげるのは大人の責任だと考えています。あらためて生活リズムを整えるためにこのルールについて考えてほしいです。あらためてこのルールの意味を確認させていただきます。一つ目の意味は、罰として禁止するのではなく心と体を休めるためのものです。刺激の多いデジタル機器を制限することで休息をとることができ、次の日の元気な登校につながられます。二つ目の意味は、自分と向き合う時間をつくることです。デジタルを使用するとどうしても次から次へと情報が入ってきて「今の自分がどうなのか」を考える時間を取ることができなくなります。

1学期の半分が過ぎました。もう一度、子どもたちのがんばろうとする意欲を高めるためにも環境を整えてあげてほしいと思っています。遅刻が多い人には個人懇談会で作戦会議ができたかと考えています。

子どもとの距離感をしっかり意識していきます

先日の職員会議で子どもとの距離感について話をしました。とくに高学年は人との距離感に敏感になる時期でもあります。子どもたちにも折をみて話をしながら、教職員としても子どもとの距離感を意識して指導、支援していきたいと考えています。

熱中症について子どもと共に考えてきます

学校では、夏になると暑さ指数を1時間ごとに計るようにしています。WBGTです。この数値が31度を超えると「危険」レベルで外出はなるべく避けるようになっています。熱中症対策としてお茶の準備をお願いします。お茶がなくなったときには水道の水を飲んでも大丈夫だとテレビ朝会でも話しました。子ども自身で熱中症にならないように考えさせていきたいです。